
5 5 1 2. 輸入マニフェスト通関申告変更（AEO通関業者用官署変更）

業務コード	内 容
M I X	輸入マニフェスト通関申告変更（AEO通関業者用官署変更）

1. 業務概要

システムに登録されている輸入マニフェスト通関申告について、検査扱いになった輸入マニフェスト通関申告を通関予定蔵置場管轄官署へ申告するための、申告情報の変更を行う。

本業務により申告変更された場合は、当初の輸入マニフェスト通関申告は申告撤回され、本業務により払い出される申告番号に申告内容を引き継ぐ。

本業務により引き継がれた申告情報を、通関予定蔵置場管轄官署宛へ申告するためには、「輸入マニフェスト通関申告（M I C）」業務による申告が必要である。

本業務により引き継がれた申告情報は、M I C業務が行われない場合は、一定期間経過後システムから削除される。

なお、本業務を税関の開庁時間外に行う場合は、事前に時間外執務要請届がされている必要がある。

2. 入力者

通関業

3. 制限事項

なし。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②本業務が入力された日において認定通関業者であること。
- ③輸入マニフェスト通関申告DBに登録されている申告者と同一であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 輸入マニフェスト通関申告DBチェック

入力された申告番号について、以下のチェックを行う。

- ①入力された申告番号が輸入マニフェスト通関申告DBに存在すること。
- ②入力されたHAWB番号が、輸入マニフェスト通関申告DBに登録されているHAWB番号と同一であること。
- ③マニフェスト通関申告（予備申告を除く。）が行われていること。
- ④審査区分が「検査扱い」であること。
- ⑤審査終了されていないこと。
- ⑥以下の登録がされていないこと。
 - 「輸入申告等手作業移行」
 - 「輸入申告等撤回」
- ⑦輸入マニフェスト通関申告DBに登録されているあて先官署コードが、官署変更可能な税関官署であること。
- ⑧輸入マニフェスト通関申告DBに登録されている通関予定蔵置場の管轄税関官署が、官署変更可能な税関官署であること。
- ⑨輸入マニフェスト通関申告DBに登録されているあて先官署コードと、通関予定蔵置場の管轄税関官署が、異なる税関官署であること。

⑩輸入マニフェスト通関申告DBに登録されているあて先官署コードと、通関予定蔵置場の管轄税関官署が、同一税関内であること。

⑪輸入マニフェスト通関申告DBに登録されている申告先種別コードに、特別通関貨物（税関の一般執務時間外における常駐体制の整備官署に申告する貨物）の旨が登録されていないこと。

(4) 時間外執務要請届DBチェック

本業務が税関の開庁時間外に行われた場合は、以下のチェックを行う。

①当該入力者分の時間外執務要請届DB（届出種別「A：通関」または「E：通関（24時間提出可能）」）が存在すること。

②本業務が行われた時刻が時間外執務要請届の届出時間帯であること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 輸入マニフェスト通関申告撤回処理

(A) 輸入マニフェスト通関申告DB処理

入力された申告番号について、以下の処理を行う。

①輸入マニフェスト通関申告撤回された旨を輸入マニフェスト通関申告DBに登録する。

②削除対象とする旨を輸入マニフェスト通関申告DBに登録する。

(B) 輸入貨物情報DB処理

入力されたHAWB番号について、輸入マニフェスト通関申告がされた旨を取り消す。

(3) 申告変更（官署変更）処理

(A) 申告番号の払い出し処理

申告番号を払い出す。

(B) 輸入マニフェスト通関申告DB処理

払い出した申告番号について、以下の処理を行う。

(a) 入力された申告番号に係る輸入マニフェスト通関申告DBの登録内容を、払い出した申告番号に引き継ぐ。

(b) 払い出した申告番号が引き継いだ内容について、以下の登録内容の変更を行い、輸入マニフェスト通関申告DBに登録する。

①あて先官署コードを、通関予定蔵置場の管轄税関官署に変更する。

②当初のあて先部門コードの登録を取り消す。

③入力された申告番号に係る情報を記事に登録する。（詳細については後述の「特記事項」を参照。）

(c) 本業務において払い出された旨を登録する。

(C) 添付ファイル管理DB処理

入力された申告等番号に係る情報が添付ファイル管理DBに存在する場合は、入力された申告等番号に係る情報を、払い出した申告等番号に紐づく情報として、添付ファイル管理DBに登録する。

(4) 時間外執務要請届使用実績DB処理

税関の開庁時間外の場合、時間外執務要請届を使用した旨を時間外執務要請届使用実績DBに登録する。

(5) 注意喚起メッセージ出力処理

処理結果通知に、本業務において新規に払い出された申告番号について、MIC業務からの輸入マ

ニフェスト通関申告が必要な旨の注意喚起メッセージを出力する。

(6) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

なお、輸入マニフェスト通関申告情報については「輸入マニフェスト通関申告呼出し（MID）」業務の「出力項目表」を参照。

また、「申告番号」欄については、本業務において払い出された申告番号を出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸入マニフェスト通関申告情報	正常終了した場合	入力者
予備申告（S）通知情報	予備申告（航空貨物の集積場所で貨物引取時自動起動）による輸入マニフェスト通関申告の場合に出力	保税蔵置場*1
輸入マニフェスト通関申告情報（レコーダ）		税関 （通関担当部門）

(*1) システムに出力する旨が登録されている場合にのみ出力する。

7. 特記事項

(1) 「記事」欄の登録処理について

「記事」欄については、入力内容により以下の優先順位で編集し、輸入マニフェスト通関申告DBに登録する。

△：スペース

項番	条件	桁	17	.	.	20	+	30	35		
1	17桁目以降がスペースの場合		△			官署 コード*3 (2桁)										申告番号*2 (11桁)					△	審査 区分*4 (1桁)	
2	17桁目以降がスペースではなく、19桁目以降がスペースの場合		編集なし	△		官署 コード*3 (2桁)										申告番号*2 (11桁)							
3	19桁目以降がスペースではなく、24桁目以降がスペースの場合		編集なし														申告番号*2 (11桁)						
4	24桁目以降がスペースではなく、31桁目以降がスペースの場合		編集なし												△		官署 コード*3 (2桁)				部門 コード*3 (2桁)		
5	上記以外の場合		編集なし																				

(*2) 入力された申告番号を登録する。

(*3) 入力された申告番号に係るあて先官署コード及びあて先部門コードを登録する。

(*4) 入力された申告番号に係る審査区分選定時の審査区分を登録する。